

中里高校SBP始動

# 地域の活性化目指して

中泊町の人や自然、歴史といった地域資源を活用しながら地域の活性化を図ることを目的とした、中里高校SBP（ソーシャルビジネスプロジェクト）が5月12日（休）結成され、1年生9人、2年生3人が参加しました。

同日、三重県多気町の高校生レストラン「まごの店」の仕掛け人である岸川政之氏が中里高校を訪れ、生徒らに高校生が関わり町おこしにつながった事例を紹介し、「真剣かどうかが成功の鍵」と生徒たちに伝えました。生徒らは、紹介された事例が自分たちでもできるのか、この地域ならではの取り組みはできないかなど真剣な表情で考えていました。話を聞いた生徒は「高校生が考えて作られた商品を見たが、どれもすごかった。自分たちが作れるのか自信はないが、挑戦してみたいと思った」と話していました。



岸川政之氏



真剣な表情で話を聞く生徒たち

5月13日（金）、深浦町の木造高校深浦校舎で中泊町・鰯ヶ沢町・深浦町の特産品を取り入れたセレクトギフトの試作会が行われ、中里高校SBPからは5人の生徒が参加しました。

試作会には、同じ取り組みをしている木造高校深浦校舎と鰯ヶ沢高校の生徒らも参加し、のしかや鯨餅、ふかうら雪人参ジューズなどを試食、10点満点で審査しました。生徒たちはギフトにしたときの重さやバランスなどに頭を悩ませながら意見を出し合っていました。参加した生徒らは「地元の特産品でも知らないものが多かった。ギフト作りは難しかったが、地域や町のためになると考えるとやりがいがある」と話していました。

今後は、3校連携のセレクトギフト作りのほかに、中里高校独自のセレクトギフト作りも行っていくそうです。中里高校SBPのリーダーとなった竹谷雅さん（2年生）は「本気でやりたいという生徒が集まった。まずはセレクトギフト作りを楽しく力を合わせながら完成させる」と意気込んでいました。



他校の生徒と協力してセレクトギフトを開発

# 今後も町発展に尽くしたい

叙勲受章合同祝賀会

これまで町の発展への貢献が認められ、国からを受章された人たちを祝おうと、5月15日(日)町総合文化センターパルナスで叙勲受章合同祝賀会が開催されました。祝賀会にはこれまでに叙勲を受けた4人のうち佐藤潔さん(浜町)、加賀田美智治さん(豊島)、新岡京一さん(福浦)の3人と関係者ら約150人が出席しました。

祝賀会は、発起人である兵庫町議会議長の挨拶で始まり、小野町長や成田県議会議員らからお祝いの言葉が贈られました。次に花束贈呈が行われ、長く応援してもらった人たちから花束の贈呈を受けると、3人は感動した様子でした。受章者らを代表して新岡さんが「こんなにも盛大に祝っていただきありがたい。この受章もみなさんのおかげだと思っている。これからも町のためがんばっていきたい」とお礼の言葉を述べました。その後、懇談会が始まると、花柳穂紀桜の演舞を見ながら、久しぶりにあった人たちと楽しそうに談笑していました。

■受章者の経歴は次のとおりです。

**佐藤 潔** 平成22年 春 旭日双光章受章  
中泊町(旧小泊村含む)議会議員(6期連続)

**古川 登** 平成25年 春 旭日双光章受章  
中泊町(旧中里町含む)議会議員(8期)

**加賀田美智治** 平成27年 秋 旭日双光章受章  
中泊町(旧中里町含む)議会議員(8期連続)

**新岡 京一** 平成28年 春 旭日双光章受章  
旧中里町議会議員(7期)



## 見事な連携を披露

消防団定期観閲式

消防団定期観閲式が、5月4日(水)パルナス駐車場で行われました。この日はあいにく雨が降り肌寒い天気となりましたが、団員たちは真剣な表情をうかべていました。町内各分団が日頃の成果を観閲者に披露することがこの式の目的でもあり、約150人の団員が参加しました。人員姿勢服装点検や車両機械器具点検、分列行進のほか、中継送水訓練、小型ポンプ操法が披露されました。また、中里子ども園児らによる幼年防火クラブ演技も行われ、団員同様に日頃の練習の成果を披露しました。



幼年防火クラブ



中継送水訓練

式典に移り、長年消防団に尽力した団員たちへの表彰や競技の表彰が行われました。各表彰、観閲者講評、団長訓示、来賓祝辞につづき、受章者を代表して、25年以上団員を務める分団長の神滋さんが「受章に感謝している。今後とも消防人として奉仕していきたい」と謝辞を述べました。

服装、車両点検や行進などを競う優良分団では、第1分団(向町・五林・宮川)が優勝、第7分団(豊岡・福浦)と第9分団(下高根・薄市)が準優勝となりました。

津鉄の日「バースデー列車」

## 5月生まれの人たちを祝う

津軽鉄道サポーターズクラブは、毎月22日を津鉄の日と制定し、毎月イベントを開催しています。5月22日(日)は、同クラブのメンバーの1人である、「起きて夢見る会」の会長である夏原謙二さん(長泥)の誕生日。津鉄に気軽に乗ってもらおうと株式会社アクトプランが「バースデー列車」を開催しました。

走れメロス号を1両貸し切り、5月生まれの人、お祝いしたい人など55人を乗せて津軽中里駅を出発しました。車内では津鉄応援直売会の桑



ハッピーバースデー

田ミサオさん(五所川原市)の手づくり笹餅や小泊産のイカ飯などが振る舞われました。五所川原駅に着くと津軽鉄道イメージキャラクターのつてつちーがお出迎えし、乗客らは一緒に写真を撮るなど楽しんでいました。帰りの車内では、5月生まれの6人を乗客みんなどお祝いしました。夏原さんと一緒にこの日誕生日を迎えた加藤マサさん(派立上)は「今日はたくさんの人たちに祝ってもらって嬉しい」と笑顔で話していました。



笹餅やイカ飯の振る舞い

## 奉仕の心を大切に

中里高校が全校奉仕活動

全校生徒教員が一丸となって地域貢献をしようと、今年も5月2日(月)町内各所で中里高校生徒と教員が奉仕活動を行いました。

午前中、1・2年生は町運動公園の陸上競技場で緑地にたまったゴミやトラック脇の側溝内の落ち葉や小枝などを片づけました。午後は静和園で窓ふきや車イスふき、利用者の屋外の散歩を手伝いました。3年生26人は、同校近くの内潟療護園で、施設の窓ふきや車イスなどの介護用品のふき掃除で奉仕しました。



気持ちを込めて窓ふき

作業を終えて生徒たちは「普段使っている陸上競技場もよくみるとゴミがたくさんあり驚いた」「使う人のことを考えながら拭いた。気持ちよく使ってくれたら嬉しい」と話しました。

また、施設担当によると「今日は、普段私たちができない部分も掃除してくれて園内がとてもきれいになった。外出できて利用者も喜んでいる。いつでも遊びに来てください」と高校生の奉仕活動に感謝していました。



利用者と散歩